

【お問い合わせ先・応募書類送付先】

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-41-24 東池袋センタービル 8階

TEL 03-5956-5508 管理本部(担当:中野・吉野)

E-Mail : recruit@tokoc.co.jp

URL : <http://www.tokoc.co.jp/recruit.html>



本社事業部 東京都豊島区東池袋 4-41-24 東池袋センタービル 8階

大阪支店 大阪府大阪市西区西本町 1-3-15 大阪建大ビル 2階

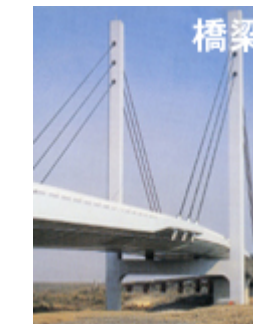
九州支店 福岡県福岡市博多区博多駅東 3-3-3 新比恵ビル 3階

仙台支店 宮城県仙台市青葉区本町 2-9-8 日宝本町ビル 2階

海外事業部 東京都豊島区東池袋 4-41-24 東池袋センタービル 8階



会社案内



4E

株式会社 東光コンサルタンツ

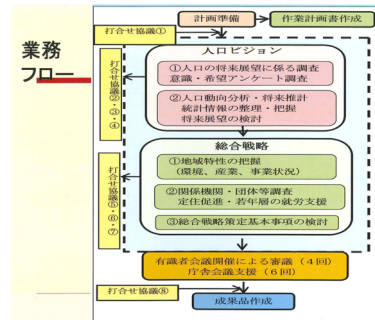
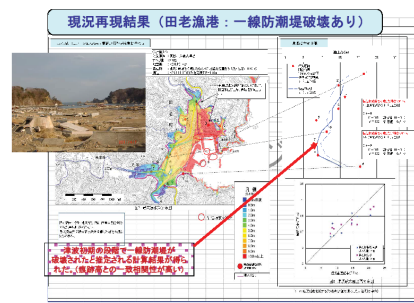
○会社概要

会社名	株式会社東光コンサルタンツ TOKO ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.		
所在地	〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-41-24 東池袋センタービル		
	TEL 03-5956-5508	FAX 03-5956-5513	
資本金	100 百万円		
売上高	2,745 百万円 (平成 28 年 9 月決算)		
創立	昭和 35 年(西暦 1960 年)10 月 5 日		
代表取締役社長	堀 尚義		
主な業務内容	道路・橋梁・港湾・上下水道・河川・鉄道・空港・都市計画などの建設業に関わる各種調査・計画・設計および施工管理等		
従業員数	男性 149 名	女性 15 名	合計 164 名(平成 29 年 4 月 1 日現在)

○建設コンサルタント登録	登録番号 建 26-2 号	平成 26 年 10 月 1 日
○測量業登録	登録番号 第(14)-633 号	平成 26 年 4 月 8 日
○地質調査業者登録	登録番号 質 24 第 264 号	平成 24 年 11 月 30 日
○特定労働者派遣事業	特 13-304221	平成 18 年 11 月 24 日

○グループ会社

株式会社トーコー地質	地質調査業、建設業、建設コンサルタント	創立 46 年
株式会社トーコーテック	人材派遣業、建設コンサルタント	創立 28 年
株式会社トーコー総研	IT技術支援業	創立 14 年
日本海外コンサルタンツ株式会社	海外専門の建設コンサルタント	創立 51 年



平成 30 年度(平成 30 年 4 月)入社新卒者募集要項

- 採用計画人数 6~10 名[平成 29 年 4 月 7 名]
- 採用職種 土木技術系(道路・橋梁・港湾など)
- 応募方法 リクナビ 2018 よりエントリーしてください。
- 勤務地 本社および各支店(東京・大阪・九州・仙台)
- 待遇と勤務 勤務時間/9:00~17:00 休憩時間/12:00~13:00
休日/完全週休二日制(土・日)、祝祭日、年末年始
休暇/夏季休暇 4 日、年次有給休暇(初年度 10 日・最高 20 日繰越により 40 日)、慶弔休暇、リフレッシュ休暇、育児休暇、介護休暇 他
- 給与・賞与 初任給(東京地区:地域手当含む) 修士 235,400 円 大学 224,000 円
昇給 年 1 回 賞与 3.9 ヶ月(平成 28 年実績)
諸手当 時間外手当、資格(役職)手当、技能手当(技術士等)、扶養手当、地域手当、別居手当 他
- 福利厚生 社会保険(健康保険、厚生年金)
労働保険(雇用保険、労災保険)、健康診断
各種制度(社員持株会制度、退職金制度、確定給付企業年金、確定拠出年金制度他)
独身寮 (30 歳まで入寮可)
教育研修(新入社員研修、階層別研修、技術士研修、海外研修、技能研修)
- 提出書類 1.履歴書 2.成績証明書(大学院の方は学部のものも) 3.卒業(修了)見込証明書
- 選考方法 第一次選考...書類選考
第二次選考...筆記(基礎能力検査)、小論文、PC スキル適性試験、面接
- 選考日時 書類受付後 1 週間を目途に第一次選考の可否をお知らせします。
第一次選考に合格した方のみ第二次選考を行います。
- 選考場所 東京、大阪、福岡 (来社費用はご本人負担にてお願いします。)
- 採用実績校 青山学院大学、茨城大学、宇都宮大学、大阪大学、大阪工業大学、鹿児島大学、北見工業大学、九州産業大学、京都大学、近畿大学、埼玉大学、芝浦工業大学、信州大学、崇城大学、中央大学、東海大学、東京電機大学、東京理科大学、東北大学、鳥取大学、日本大学、福井大学、福岡大学、法政大学、室蘭工業大学、和歌山大学、立命館大学
大阪工業大学大学院、鹿児島大学大学院、京都大学大学院、近畿大学大学院、群馬大学大学院、熊本大学大学院、東海大学大学院、中央大学大学院、鳥取大学大学院、日本大学大学院、福山大学大学院、明星大学大学院

採用責任者からのメッセージ

執行役員管理本部長
中野 透



■建設コンサルタントの草分けとして

東光コンサルタンツは1960年の創立以来、「地球をデザインする会社」として調査・計画・設計・施工管理等の業務においてお客様の良き技術パートナーとしてその役割を担う専門技術者集団である建設コンサルタントとして事業展開をしてまいりました。

これからも建設コンサルタントの草分けとして、56年にわたって蓄積された技術や経験にもとづき、お客様に対するコンサルティングを行っていきながら、地球の未来と社会の発展に貢献していきたいと考えています。

■社会資本整備に携わる者として

近年、社会資本整備を取り巻く状況が大きく変化したことに伴い、建設コンサルタントに求められる資質が大きく変化してきました。

これまでは、主としてお客様の良き技術パートナーとしての立場が求められてきましたが、今後は、事業執行にあたって、従来型の立場に加え、お客様に代わって担当する役割や第三者の立場で設計審査を実施する役割を担うことも求められます。

当社では、建設コンサルタントとして責任ある立場で業務を行う専門技術者集団として、社会資本整備の事業執行に適切に参画し、積極的な提案を行っていけるよう従来の土木関連の技術・マネジメントに加え、周辺分野等を含む幅広い技術を蓄積し、さまざまなプロジェクトに対応していくことを目指しています。

■当社の人材に対する考え方

当社は、社員数が160名程度の中堅建設コンサルタントです。「少数精鋭の技術者集団」を志向する当社では、人材とは、唯一無二の経営資源であり、また会社の成長に不可欠な原動力です。

すなわち、当社にとって志の高い若い人材を一人でも多く確保していくことが競争力の維持・向上にとって、大切なことと考えています。

■当社に応募されるみなさんへ

東光コンサルタンツには社員一人ひとりに与えられるチャンスが他社よりも多くあり、共に「専門技術者として成長して行こう」という共通の目標を持った仲間がいます。あなたも社会の発展に貢献するために是非一緒にチャレンジしていきましょう！

自ら考えて行動し、責任をもって仕事に取り組むことができる皆さんを、私たちはお待ちしています。是非当社の門を叩いてください。

意欲ある皆さんの応募をお待ちしております。

社長からのメッセージ

代表取締役社長
堀 尚義



学生の皆さんへ

■当社の歴史について

当社は、創業者が1958年に技術士の個人事務所を開設したのを嚆矢に1960年に株式会社東光コンサルタンツとして創立以来、56年にわたり「道路」、「橋梁」、「港湾」を三本柱とする「総合建設コンサルタント」として国内では旧建設省、旧運輸省(現国土交通省)を始めとする中央官庁、旧日本道路公団(現NEXCO 3社)、旧新東京国際空港公団(現成田国際空港(株))を始めとする旧公団、各都道府県、各市町村をお客様としてまいりました。

また、海外では旧国際協力事業団(現国際協力機構)を始めとする国際機関とも良好な関係を構築してまいりました。

■土木技術者としての私

私も1969年に大学の土木工学科を卒業後すぐに当社に入社し、道路を専門とする土木技術者として、日本国内はもとより、パナマ、フィリピン等でも建設コンサルタント業務に従事してまいりました。この間幸いにも技術士第二次試験に合格し、晴れて建設部門の技術士として登録することができました。

■会社経営に対する私の考え方

56年に及ぶ会社の歴史の中では、いわゆる小泉改革により前述の旧公団が民営化されたこと等もあり業績は必ずしも堅調な時期ばかりとは申せませんでした。近年は東日本大震災復興あるいは国土強靱化政策による建設需要を技術部門と営業部門という会社の両輪がうまく機能してきたことに因り取り込むことができ、当期利益ベースで5期連続増益という好成績を収めることができました。

会社経営で何が一番大事かといいますと、日本の何十万人もの経営者の方々には色々な考え方があるでしょうが、私は会社の存続であると考えております。

会社の足腰は、技術部門と営業部門という会社の両輪に加え、財務体質を強固にすることでしっかりしたものになるとしており、人材の確保と財務体質の更なる強化によって会社の存続を図ってまいりたいと考えております。

■今後の東光グループの展望

これからは、国内においては従来型のハード主体のビジネスに加えi-padの積極的な活用等により客先に対するソフト面での支援等の新規分野も重要な業務として取り組んでまいりますし、また海外においても海外專業子会社(日本海外コンサルタンツ)を中心にグループの総力を挙げて着実に展開してまいりたいと考えております。

今後建設コンサルタント業界を取り巻く環境は必ずしも明るいものばかりではないかもしれませんが、当社では56年間にわたって培ってきた東光グループの連帯感、幾多の困難から生き残った数々の教訓、先輩から頂いたご恩をこれからも忘れることなく、従来から培ってきた技術力、人脈を活かして誠実かつ謙虚に業務に従事すれば、わが東光グループは将来も勝ち残れることを確信しております。

■大いに語り合しましょう

現在、当社においても技術者(特に若手)の人材確保は大変重要な課題であります。会社は総力を挙げてこの課題に取り組んでまいりますので、是非全国の学生の皆様に積極的に当社に応募いただくようお願いする次第です。

そして、来年は私と配属先で美酒を酌み交わしながら、大いに語り合おうではありませんか。

先輩からの一言

平成 16 年入社
都市システム工学科卒
大阪支店 技術第一部 課長代理
安藤 創也



Q1. 東光コンサルタンツに入社したきっかけは何ですか？

私の出身は長野県（海無し県）で、海への憧れから、大学時代は海岸工学の研究室に所属しておりました。

加えて、幼少期に海外で過ごした経験も活かしたいと思い、港湾の設計及び海外の業務を行っている会社として東光コンサルタンツに強く興味を抱いたことがきっかけです。

Q2. 今、担当している仕事を簡単に紹介してください。

現在は、道路の計画・調査・設計を中心に、河川の耐震照査や護岸設計等も行っています。

大学時代に行っていたこととは違っていますが、諸先輩方の指導・監督の下、同僚や後輩と共に、発注者や利用者の要求に応えられるよう日々業務に取り組んでいます。

Q3. 学生に向けて一言お願いします。

遠い昔？の学生の頃のことはもう忘れしたのでアドバイスはあまりできませんが、余談を少し。

私の大学の恩師曰く、「土木という仕事は医学と同様に人の命を直接救える業種である。それは医学のように花形の職業ではないかもしれないが、誰もがお世話になっているものだ。このことを忘れないで世に貢献してくれ。」

情報が溢れている現代に生きる私たちは、経験をしようと思えば様々なことができる世の中にいます。みなさんには、これまでもこれからいろいろな可能性が開けています。その中で建設コンサルタント業界、延いては当社で働くことを選んでいただけるならば是非、一緒に世の中に貢献しましょう。

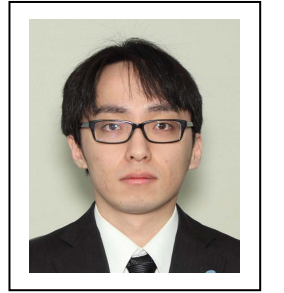
最後に、「土木をする上で、マクロ経済と英語は勉強しておいて損はないでしょう。」これも前述の恩師の言葉ですが、思い出しつつここに挙げておきます。



※安藤さんは、平成 26 年 11 月に海外研修の一環として、「Asian Highway network, Route 4」の一部を担うモンゴル内道路に関する施工管理プロポーザルの準備業務に 10 日間派遣されていました。

先輩からの一言

平成 24 年入社
社会交通工学科卒
本社事業部 技術第三部 係長
魚地 利樹



Q1. 東光コンサルタンツに入社したきっかけは何ですか？

大学では交通、建設、環境を中心に様々なことを学びました。その中で、橋梁の図面の模写や、図面を参考に模型を作製する機会があり、橋梁というものに興味を持ち始めました。

その後、研究室の教授から東光コンサルタンツを紹介され、港湾をはじめとした多岐にわたる分野で業務を行っているこの会社を知ったのがきっかけでした。

Q2. 今、担当している仕事を簡単に紹介してください。

津波によって流されてしまった魚礁の復旧方法を検討しています。

東日本大震災から 6 年経った今、防波堤、防潮堤といった津波を防ぐ構造物の整備は進んでいますが、実は、目に見えない海中の構造物も津波による影響を大きく受けています。

防波堤や防潮堤と違い、人的被害に直結するものではありませんが、魚礁が機能を果たさなくなってしまうと、ウニやアワビといった海産物の漁獲量が大幅に減少してしまうので、漁業に携わる人たちの大きな被害に繋がってしまいます。

Q3. 学生に向けて一言お願いします。

私たちの仕事の成果は、構造物という目に見える形で残っていきます。当然、大きな責任を伴うことではあるのですが、その分やりがいも大きく、誇れる仕事であると私は思っています。

仕事にやりがいを感じたい方、私たちと仕事をしてみませんか。



※魚地さんは、平成 27 年 10 月 3 日に池袋サンシャインシティ・ワールドインポートマート 5 階会議室において開催された技術本部主催の「第 18 回東光グループ合同技術発表会」において特別賞を受賞しました。